



議会運営委員会 視察報告

1

- 【調査日】 令和 7 年 8 月 4 日(月)～ 8 月 6 日(水)
- 【調査地】 ・三重県志摩市 ・愛知県一宮市 ・愛知県半田市
- 【調査目的】 議会運営について
- 【視察者】 ◎香月孝夫、○力武英一郎
松尾伸人、塚本博幸、前田邦幸、井手 勲、盛 泰子

● 調査目的 及び 各市概要

目的: **議会運営について** (各視察先共通)

(各市概要)

- ・ **三重県志摩市**

面積178.93 km² 人口:40,956人 (令和7年8月1日現在)

財政規模: 280億7,335万円 (令和7年度当初) 議員定数 18名

- ・ **愛知県一宮市**

面積113.82 km² 人口:375,134人 (令和7年9月1日現在)

財政規模: 1,443億1,000万円 (令和7年度当初) 議員定数 38名

- ・ **愛知県半田市**

面積47.42 km² 人口:115,471人 (令和7年9月1日現在)

財政規模: 490億8,000万円 (令和7年度当初) 議員定数 22名

● 視察先 及び 調査項目

・三重県 志摩市議会

- (1) ICTを活用した議会運営の効率化
- (2) 予算決算常任委員会の設置と中学生議会の開催

・愛知県 一宮市議会

- (1) 常任委員会の運営
- (2) 主権者教育

・愛知県 半田市議会

- (1) 政策提言
- (2) 事業評価



※大型スクリーン設置の一宮市議会 議場

■ 志摩市議会報告 1/2 (報告者:前田邦幸、松尾伸人)

その前に・・・

《 志摩市の紹介 》



- ・ 志摩市は、平成16年に5町が合併し誕生
- ・ 人口4万 1千人、議員定数18名
- ・ 伊万里市より規模は若干小さめ
- ・ 市議会としては、比較的に新しい

■ 志摩市議会報告 2/2 (報告者:前田邦幸、松尾伸人)

◆ ICTを活用した議会運営の効率化

⇒ タブレット端末と個人PCの併用により

完全ペーパーレス化を実現

⇒ オンライン会議を実施するための条例改正を実施

◆ 予算決算常任委員会の設置と中学生議会の開催

⇒ 議長を除く全議員での予算決算の審査を実施

⇒ 主権者教育と開かれた議会を目指し中学生議会を開催

■ 一宮市議会報告 1/3 (報告者:井手 勲、塚本博幸)

その前に・・・

《 一宮市の紹介 》



- ・ 繊維の町 明治以降日本最大の毛織物産地
- ・ モーニング発祥の地 昭和30年初頭に産声
- ・ カレーハウスCoCo壱番屋 本社所在地

※昭和53年創業 (全国 1,328店舗 海外198店舗) など

■ 一宮市議会報告 2/3 (報告者:井手 勲、塚本博幸)

(1) 常任委員会の運営

① 定例会時、委員会当日の流れ ⇒ 伊万里市議会と同様

※ 開会→付託議案上程→執行部による提案理由説明→質疑・応答→採決

② 予算審査方法 ⇒ 手順は定例会と同じ

※ 常任委員会で当初予算も審議するため、開会時間が長くなる。

③ 決算審査方法 ⇒ 基本予算委員会同、決算特別委員会は設置無し

※ 常任委員会に所管する費目毎に分割付託するため、決算特別委員会は設置していない。

④ 委員会の事前準備への力点 ⇒ 正副委員長は、委員会当日質問無し 議事進行に専念の仕組み構築

※ 開会前に「正副委員長会」を実施。ここでは、委員会当日同様に議事進行。
正副委員長が質疑を行い、委員会当日 予定の説明や資料等の確認を行う。

■ 一宮市議会報告 3/3 (報告者:井手 勲、塚本博幸)

(2) 主権者教育

＜取組み状況＞

- ・ 小学生の「議場見学会」を実施 ⇒ 子ども議会から議場見学会に変更

※ 小学校から職場見学等の依頼あり。議場説明や一般質問の模擬体験実施。

- ・ 議場開放:地元高校ブラスバンド部「議場演奏会」実施

⇒ 議会への親しみや関心を高める事を目的に議長発案

※ 閉会日の開会前に議場内で演奏。演奏後、本会議傍聴。

＜今後の進め方＞

- 議会基本条例に記載されている「開かれた議会」を目指し模索中

※ 主権者教育については、定例会や委員会業務と並行して、他市の事例などを参考に、本市議会にあったやり方を調査・研究模索中である。

■ 半田市議会報告 1/2 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

その前に…

《 半田市の紹介 》

- ・ 古くから、海運業、醸造業などで栄える
- ・ 半田市の象徴、「山車」「蔵」「南吉」「赤レンガ」
- ・ 童話「ごんぎつね」の作者、新美南吉の故郷
- ・ 半田赤レンガ群はビール工場跡。当時4大ビールがシェアを効かせる中、それに立ち向かうべく果敢な挑戦へ

■ 半田市議会報告 1/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 政策提言

委員会からの政策提言 ← 年間調査

◆半田市議会 議会基本条例 第13条第5項

- ・ 議会の閉会中においても、当該委員会の所管する事項の調査研究活動を積極的に行う

◆伊万里市議会 議会基本条例 第13条

- ・ 委員会は、委員間の自由な討議を保障した運営を行うとともに、政策立案及び政策提言を積極的に行うよう努めなければならない

■ 半田市議会報告 2/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 政策提言

【スケジュール】



- ・5月 毎年委員会改選時に、年間の閉会中
調査テーマを決定
- ・6～1月 調査、研究 (委員会の開催 + 視察 + 勉強会)
- ・2～4月 提言まとめ
- ・5月 本会議で報告、提言

■ 半田市議会報告 3/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 政策提言

【調査テーマの設定】

◎常任委員会：正副委員長が腹案(担当部課長と協議)を持ちつつ、委員会で協議

◎特別委員会：6月議会での特別委員会設置に向け、議運で設置目的等を協議し決定。委員会設置後、改めて調査内容や方向性を確認
(基本的に、常任委員会を横断するもの)

■ 半田市議会報告 4/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 政策提言

【年間テーマの例】

- ◎議会運営委員会 ⇒ 議会基本条例の検証、議会事業評価、決算審査と事業評価
- ◎総務委員会 ⇒ 安全で安心できる住みよいまちづくり、新たな情報伝達手段
- ◎文教厚生委員会 ⇒ 介護人材の確保と介護サービスの最適化の取り組み強化、子どもの居場所づくり支援体制
- ◎建設産業委員会 ⇒ 6次産業化の拠点整備、公共交通の利便性のさらなる向上

半田市議会報告 5/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 政策提言

※令和7年9月1日発行
「はんだ市議会だより」ヨリ

令和
7年度

各委員会の 年間調査テーマ

4つの委員会では、以下のテーマについて、1年間、調査・研究を行い、その成果を活かした提言を市に行っていきます。



議会運営委員会(8人)

「決算審査と事業評価の在り方について」



議会運営委員長

半田市が行う様々な事業や施策は、市民の皆さまの貴重な税金で成り立っており、市議会はその成果や費用対効果を見極めることが重要です。決算審査と事業評価は、半田市の取組みが実際に目的を達成しているか、市民の暮らしにどう役立っているかを検証する大切な機会です。

当委員会では、「決算審査と事業評価の在り方について」を主な調査テーマとして取上げ、事業の継続・改善・廃止といった視点も含め、より実効性のある評価の方法や審査の仕組みについて、他の

市議会

少子高齢化や人口減少、地域競争の激化により、自治体にはこれまで以上に地域の魅力を伝える工夫が求められています。多様なニーズや財政の厳しさに対応するには、「国」をどう活かせるかを模索しています。政策の進め方が重要で、半田市がこれからの「住みやすいまち」づくりを進めるためには、市民一人ひとりが「住みやすいまち」づくりの担い手として、積極的に参加することが必要です。

半田市がすべての人から愛されるまちであることは、どのようにならなければいけません。



総務委員長

「選ばれるまちについて」

文教厚生委員会(7人)

「読み書きの困難を抱える子どもたちの支援について」



文教厚生委員長

近年、学習に困難を抱える子どもが増えています。中でも読み書きの困難を抱える子どもは、学習の遅れや自信の喪失、さらには社会生活への適応困難など、長期的な影響を及ぼす可能性があります。市では、学習支援センターや個別指導教室など、様々な支援体制を整えています。しかし、読み書きの困難を抱える子どもは、学習の遅れや自信の喪失、さらには社会生活への適応困難など、長期的な影響を及ぼす可能性があります。市では、学習支援センターや個別指導教室など、様々な支援体制を整えています。



建設産業委員長

「公共交通の利便性のさらなる向上について」

各委員会の年間調査テーマ

令和7年度

議会運営委員会(8人)

「決算審査と事業評価の在り方について」

文教厚生委員会(7人)

「読み書きの困難を抱える子どもたちの支援について」

建設産業委員会(7人)

「公共交通の利便性のさらなる向上について」

■ 半田市議会報告 6/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 政策提言

【政策提言の、その後】

(特に執行部からの回答を求めるものではないが)

★ 提言が事業化に踏み出すきっかけに

★ 実施予定の事業について並走して後押しする



■ 半田市議会報告 7/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 事業評価

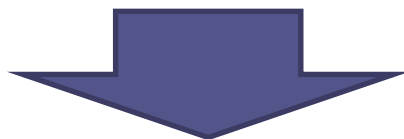
議会事業評価について

半田市議会基本条例

(平成23年3月制定、平成24年3月改正)

第9条の2(決算と予算の連動)

- ・ 決算審査にあたり、市長等が執行した事業等に対し評価する。
前項の規定にもとづき実施した評価を予算に反映させるため、
市長等と協議する。



9月決算審査の事業評価

- ・ 3つの常任委員会単位の分科会実施

平成24年度から事業開始、平成28年、令和4年、令和7年に見直しや改善を図る。

翌年度
予算反映へ

■ 半田市議会報告 8/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 事業評価

事業評価の流れ (1/3)

① 評価対象事業選定 (各常任委員会で1つの事業)

- ・ 該当年度の主要事業より、委員会で協議
(担当部課長と調整後6月中旬迄に決定)
- ・ 委員会は9月定例会会期中に、評価実施までの間、
必要に応じ事業関連の調査実施。

■ 半田市議会報告 9/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 事業評価

事業評価の流れ (2/3)

② 評価結果表作成 (「議会事業評価手引き」参照)

- ・ 委員会評価 → 委員長連絡会議で文言統一等
→ 議員総会で議会内合意
- ・ 「提言」欄 ⇒ 具体的かつ簡潔に記載。(何を、どうする)
- ・ 「理由」欄 ⇒ 評価経緯、提言趣旨、提言理由など具体的に記載。
- ・ 評価途中、正副委員長は担当部課長と調整を図る。

※「議会事業評価結果表」参照

■ 半田市議会報告 10/10 (報告者:盛 泰子、力武英一郎)

(1) 事業評価

事業評価の流れ (3/3)

③ 評価結果を市長へ通知 (ホームページ公開)

④ 評価結果に対する執行部の取組み方針報告 (議会だよりへ掲載)

予算反映事例

(例1) 教育相談員のほか、スクールソーシャルワーカーを増員すること。

⇒ スクールソーシャルワーカーを2名増員するため、予算増額を図る。

(例2) ゴミのリユースを機能させるため、民間企業とのタイアップも検討すること。

⇒ 粗大ごみの処分について「おいらく」サイトを活用する。

◆番外編（その1） 志摩市議会議場

議長の両脇に事務局が！？



◆番外編（その2） 半田市議会議場

完全なる 対面式議場!!



ご清聴ありがとうございました。

